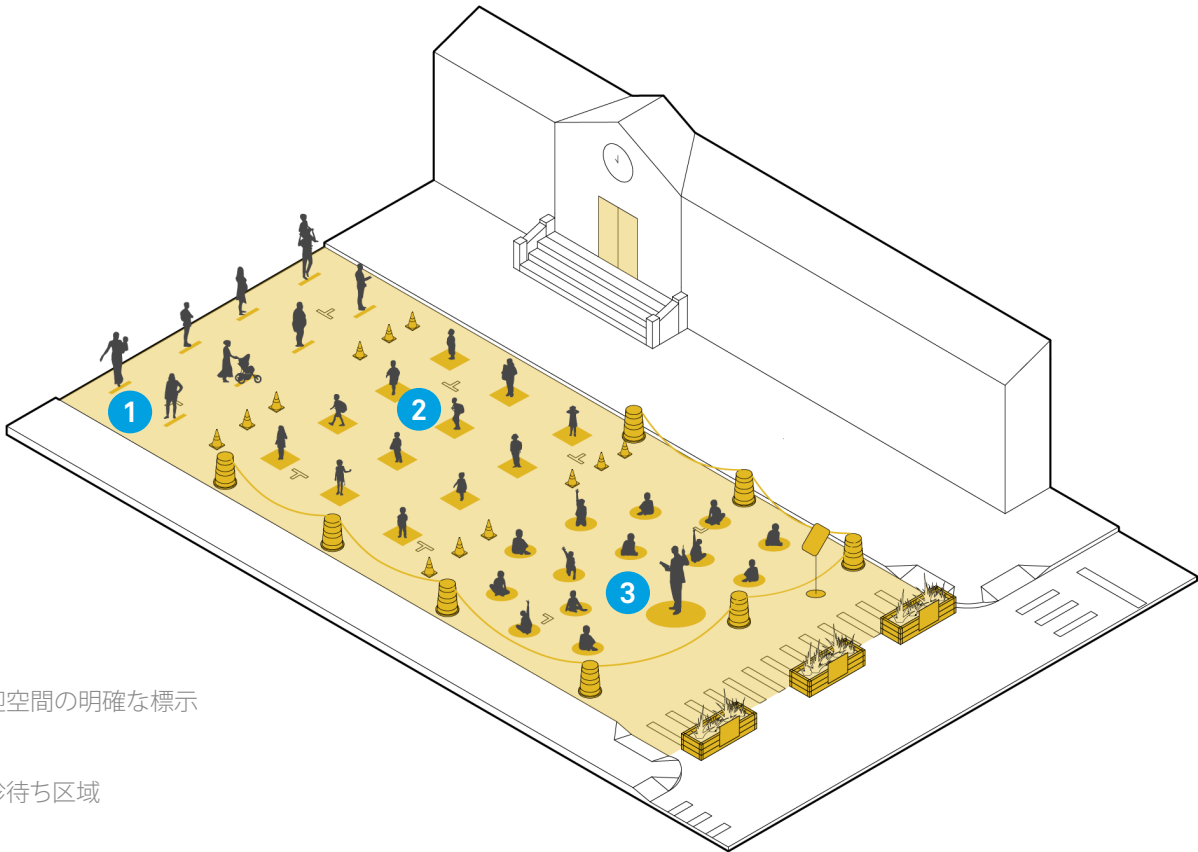




- 1 送迎空間の明確な標示
- 2 検診待ち区域
- 3 屋外教室および教育空間

屋外教室やレクリエーション空間、安全な送迎と検診の区域を設けます。

即地的状況

- 学校や保育園、学生や児童が利用する施設に隣接する街路や駐車場。
- 学校への通学路として徒歩やマイクロモビリティに乗りして利用される学校周囲・周辺の街路。

鍵となる手段

- 学校や介護施設がクラスを実施したり、休憩や集会を行うための車のない街路空間を設ける。
- 歩道拡幅、自転車レーン、マイクロモビリティレーン、安全な横断歩道、速度マネジメントを用いて、学校への安全な経路を設ける。

実施計画: 計画には数日間から数週間、実行には数時間。

期間: 数時間、数カ月間、あるいは長期間。



出典: ゲットイイメージズ経由 LightRocket

イタリア・トリノ

トリノにある校庭の公共空間が、学習空間に変身している。

計画

- ・ 学校/地域と計画を調整して、開始時間をずらしたり、入校前の検診等のための屋外施設やアクセス需要に対応する。
- ・ 学校敷地内の空間が限られており、公衆衛生ガイドラインの下で定員を超えている学校や教育/保育施設、または脆弱グループにサービスを提供している学校を優先する。
- ・ 異常気象や悪天候に備えた緊急時の対応計画を策定する。
- ・ 一部またはすべての走行レーンを撤去した場合の影響を分析する。
- ・ 隣接する街路や自転車/公共交通施設を考慮し、道路閉鎖の可能性のある期間および選択肢に反映する。
- ・ 入校前の検診と温度チェックのための空間を確保し、入口付近に保護/介護者向けの待機空間を設ける。
- ・ 歩行や自転車移動することができない児童のために、公共交通手段を改善し、安全な待合区域を備え、衛生的なスクールバスと車両経路を設ける。

連携

- ・ 待ち行列、検診、指導等の異なる区域を明確に示すために、大きく色鮮やかな標識を掲示する。
- ・ 学校や保護者の指導者と協力して、学校施設、経路、健康に関する方針の変更を伝える。

設計 + 実装

- ・ 学校施設に隣接する、またはその周辺の街路を全面的または部分的に閉鎖する。
- ・ 入口に物理的な分離帯を設置して、車両の出入りが規制または制限されていることを示す。大きな植栽鉢はバリアとなり、自然も取り入れることができる。
- ・ 路面に塗料や色などの標示により、安全な対人距離を維持した遊びや学習を促す。送迎箇所と間隔を指定する。
- ・ 屋外入口に手洗いステーションと検温ステーションを設置する。

モニタリング

- ・ 保護者、児童、教師を調査してフィードバックを得る。これを用いて、設計と運営を修正し、改善する。
- ・ 仮設的介入を用いて社会実験をし、将来の恒久事業を見据えて、質的および量的データの双方を用いて変化を伝える。
- ・ 児童の通学方法を評価し、地域経路を含め、隣接する街路のどこに優先的に改良を加えるべきかを反映する。



出典: @Anne_Hidalgo



出典: @CGITNOfficial

フランス・パリ

パリでは、対人距離を確保するために、学校前の路上に標示が設けられている。

中国・武漢

武漢では、高校の上級生が路面標示に沿って列を連なり、入校時に検温している。